

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

| 農作物名 | 病害虫名 | 発 生 程 度 | |
|-------------|---------------------------|---------|-----|
| | | 現 況 | 予 想 |
| ばれいしょ | 疫病（防除情報第12号） | やや多 | やや多 |
| きゅうり | うどんこ病 | やや多 | やや多 |
| | 褐斑病 | 並 | 並 |
| | ミナミキイロアザミウマ | 並 | 並 |
| | コナジラミ類（防除情報第13号） | やや多 | やや多 |
| トマト | 黄化葉巻病 | 並 | 並 |
| | コナジラミ類 | 並 | 並 |
| | ハモグリバエ類 | やや少 | やや少 |
| いちご （本圃） | うどんこ病 | 並 | 並 |
| | 炭疽病（ <i>G.cingulata</i> ） | やや多 | やや多 |
| | アブラムシ類 | 並 | 並 |
| | ハダニ類 | やや少 | 並 |
| | ハスモンヨトウ | やや少 | やや少 |
| ブロッコリー | べと病 | 並 | 並 |
| | コナガ | 並 | 並 |
| | ハスモンヨトウ | 並 | 並 |
| | オオタバコガ | 並 | 並 |
| | アオムシ | やや少 | やや少 |
| かんきつ | ミカンハダニ | 少 | 少 |

【発生予報】 本文の（ ）内は平年値

ばれいしょ

1. 疫病

平成23年11月14日付け、病害虫発生予察防除情報第12号による。

きゅうり

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査（8筆）の結果、発病葉率は10.6%（4.2%）、発生圃場率は75.0%（55.5%）であった。

(3) 防除上注意すべき事項

薬剤耐性菌発達防止のため、同一系統の薬剤を連用しない。

2. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1 1月上旬の巡回調査（8筆）の結果、発病葉率は0.1%（0.1%）、発生圃場率は12.5%（3.7%）であった。

3. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1 1月上旬の巡回調査（8筆）の結果、発生を認めなかった（寄生葉率0.0%、発生圃場率1.6%）。

4. コナジラミ類

平成23年11月16日付け、**病害虫発生予察防除情報第13号**による。

トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1 1月上旬の巡回調査（12筆）の結果、発生を認めなかった（過去7ヵ年平均発病株率0.0%、発生圃場率3.6%）。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 発病株の早期発見に努め、見つけ次第抜き取って適正に処分する。また、ハウス内の雑草は病原ウイルスおよび媒介虫の発生源になるので除去する。

イ ハウス内のタバココナジラミの防除を徹底し、密度を極力低下させる。

2. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1 1月上旬の巡回調査（12筆）の結果、寄生葉率は1.9%（寄生株率2.4%）、発生圃場率は41.7%（37.3%）であった。

3. ハモグリバエ類

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1 1月上旬の巡回調査（12筆）の結果、被害葉率は1.1%（被害株率5.6%）、発生圃場率は16.7%（61.0%）であった。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1 1月上旬の巡回調査（27筆）の結果、発生を認めなかった（発病株率0.2%、発生圃場率3.7%）。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 罹病葉や不要な下葉はできるだけ除去し、圃場外へ持ち出し、処分する。
- イ 薬剤は、古葉等を除去処分した後に、葉裏や下位葉にもむらなくかかるように十分量を散布する。
- ウ 薬剤耐性菌発達の防止のため、同一系統の薬剤を連用しない。

2. 炭疽病 (*G.cingulata*)

- (1) 予報内容
発生程度 やや多
- (2) 予報の根拠
1 1月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病株率は0.2%(0.0%)、発生圃場率は11.1%(5.6%)であった。
- (3) 防除上注意すべき事項
発病及び枯死した株は、伝染源となるので見つけ次第速やかに圃場外に持ち出し、圃場周辺に放置しない。

3. アブラムシ類

- (1) 予報内容
発生程度 並
- (2) 予報の根拠
1 1月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は2.5%(1.8%)、発生圃場率は22.2%(20.8%)であった。

4. ハダニ類

- (1) 予報内容
発生程度 並
- (2) 予報の根拠
ア 1 1月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は0.8%(2.1%)、発生圃場率は14.8%(21.3%)であった。
イ 向こう1ヶ月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

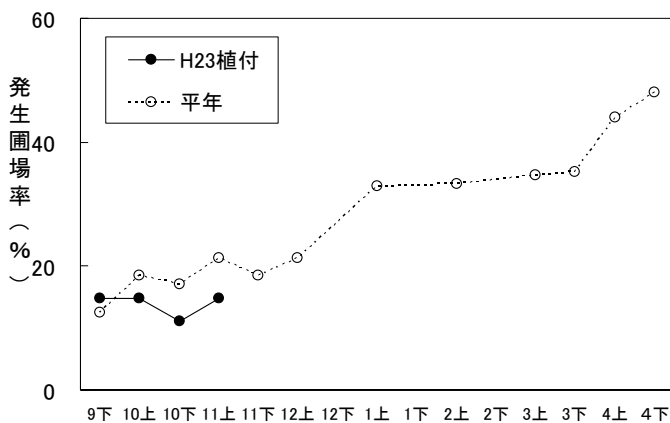


図 いちごハダニ類 発生圃場率の推移

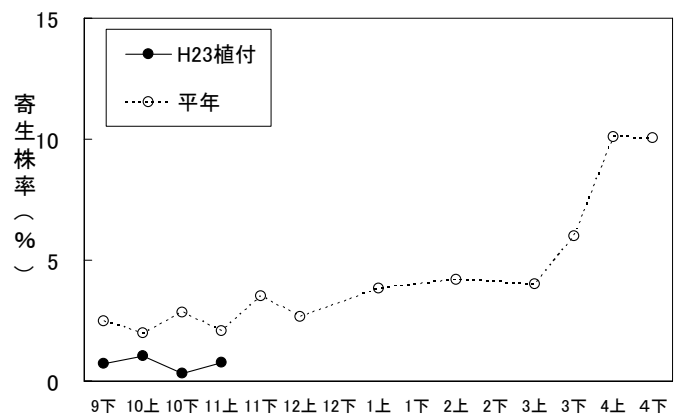


図 いちごハダニ類 寄生株率の推移

- (3) 防除上注意すべき事項
ア 薬剤散布は下葉かき等、古葉の整理を行い、散布むらがおこらないように、葉裏まで付着するように十分量をていねいに散布する。
イ 薬剤感受性の低下を防ぐため、同一薬剤は連用しない。
ウ 天敵放飼を予定している場合は、薬剤によっては長期間影響を与えるものがあるので薬剤の選定に留意する。

5. ハスモンヨトウ

- (1) 予報内容
発生程度 やや少
- (2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査（27筆）の結果、食害株率は2.0%（4.8%）、発生圃場率は33.3%（53.2%）であった。

ブロッコリー

1. ベと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査（12筆）の結果、発生を認めなかった（4カ年平均発病株率0.2%、発生圃場率4.2%）。

2. コナガ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査（12筆）の結果、寄生株率は2.7%（4カ年平均4.9%）、発生圃場率は41.7%（4カ年平均45.8%）であった。

3. ハスモンヨトウ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査（12筆）の結果、寄生株率は1.7%（4カ年平均3.3%）、発生圃場率は25.0%（4カ年平均37.5%）であった。

4. オオタバコガ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査（12筆）の結果、寄生株率は0.3%（4カ年平均0.8%）、発生圃場率は8.3%（4カ年平均14.6%）であった。

5. アオムシ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査（12筆）の結果、発生を認めなかった（4カ年平均寄生株率1.1%、発生圃場率14.6%）。

かんきつ

1. ミカンハダニ

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査（39筆）の結果、寄生葉率は2.0%（7.2%）、発生圃場率は38.5%（54.2%）であった。

【参考】
気象

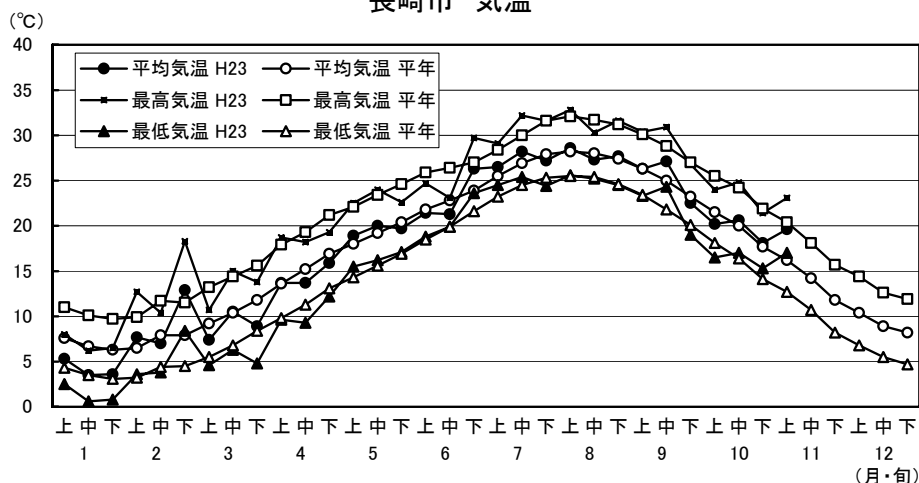
(平成23年11月11日発表 1か月予報 福岡管区气象台)
要素別確率

| 要素 | 低い (少ない) | 平年並 | 高い (多い) |
|------|-------------|-----|------------|
| 気温 | 10 | 30 | 60 |
| 降水量 | 20 | 40 | 40 |
| 日照時間 | 40 | 40 | 20 |

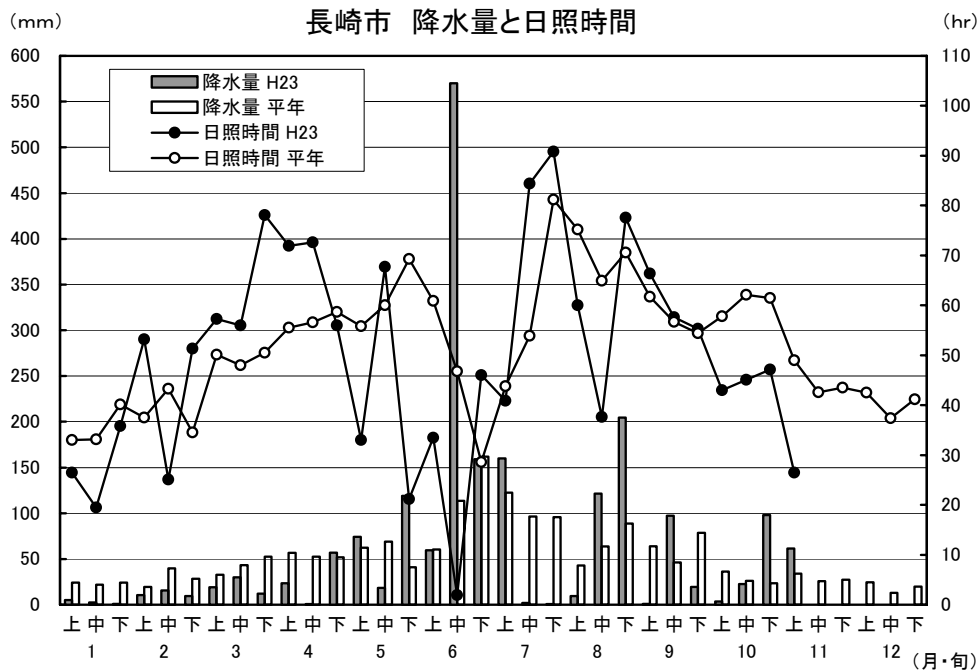
※予報対象地域：九州北部地域

平成23年の気象経過 (長崎海洋气象台)

長崎市 気温



長崎市 降水量と日照時間



○病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027